

日誌

日誌 04月14日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.7℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
	10:00	服薬指導
	11:00	一包化
	12:00	昼休み
	13:00	薬歴記入
	14:00	フィードバック
	15:00	服薬指導
	16:00	薬歴記入
17:00	薬歴記入	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(3)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(3)名	

日誌

日誌 04月14日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【服薬指導①】 高血圧症・不眠症（フィードバック途中） テラムロ配合錠AP バイアスピリン錠100mg トリアゾラム錠0.25mg</p> <p>今回は補聴器を装着せずに来局されたが、体調に変化はなく、薬歴カレンダーからも服薬コンプライアンスは良好であることが確認できた。なお、トリアゾラムについては以前から依存傾向があったとの指摘が指導薬剤師よりあり、今後の観察が必要と感じた。</p> <p>【服薬指導②】 肩のこわばり（すい臓がんの既往歴あり） ロキソプロフェンNaテープ100mg</p> <p>肩のこわばりに対し整形外科から処方。2-3週間に1度のペースで同様の処方で来局されている患者であり、普段は明るく薬局に入ってくるときから明るく話しかけてくれるのだが、今日は元気がなさそうで最初は別人かと思うほどであった（服装の雰囲気がいいつもと違ったからかもしれない）。 すい臓がんの既往があり、現在72歳なので体調や体力面での負担を感じる日もあるのかもしれない。 投薬の際にはいつも通りに戻っていた。今日は午前中に体操や庭仕事を行い、午後趣味を楽しむご予定とのこと、痛みやこわばりが日常生活に大きく支障を与えている様子は見受けられなかった。</p> <p>【服薬指導③】 下肢静脈瘤 イコサペント酸エチルカプセル300mg ヘパリン類似物質油性クリーム0.3% ヘパリン類似物質ローション0.3%</p> <p>4-5年前より脚の皮膚にかゆみとボコボコを感じ皮膚科を受診したところ静脈瘤と診断されていた。今回悪化したため専門クリニックを紹介され、血栓形成が認められたため、来週日帰りでのカテーテルのグルー治療の手術をうける予定。 「放置するとエコノミークラス症候群みたいになったり血栓が飛んだら怖いから早期に対応できそうでよかった」と話しており、治療に対して前向きな姿勢が見られた。</p> <p>イコサペント酸エチル…アラキドン酸代謝を競合的に阻害し、TXA2の生成を抑制するとともに血管壁でEPAからPGI2の生成を促進することで血小板凝集を抑制。</p> <p>【服薬指導④】 妻 アムロジピン錠2.5mg プラバスタチンNa錠10mg ケトプロフェンテープ40mg</p> <p>夫 一包化（ピタバスタチンCa1mg、エゼチミブ錠100mg、フェブキソスタット錠20mg、フロセミド錠20mg、ニフェジピンCR錠10mg、エンレスト錠200mg、ダーブロック錠2mg、クエン酸第一鉄Na錠50mg） 強力レスタミンコルチゾンコーワ軟膏 ロケルマ懸濁用散分包5g</p> <p>旦那様には2つの病院から多数の処方があるため、残薬を預かり一包化の対応をとっている。服薬日数は薬局側でも把握していたが、予定日になっても来局されず、最終的には奥様のご自分の分と併せて代理で受け取りに来た。新規処方された軟膏や、検査値のことや、服薬コンプライアンス不良である現状についてご本人に直接伝えたい事項がたくさんあったが叶わなかった点が悔やまれる。（薬が飲めていないのは、認知機能の低下によるものなのか、アドヒアランスの不良によるものなのかの確認がしかなかった） 奥様からは、「最近珍しく昼間に横になっている」との情報提供があり、体調悪化の兆候も懸念された。</p>
----------	--

日誌

日誌 04月14日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月14日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">・たくさんの服薬指導に関わることができたが、薬歴が今日中に書ききれなかった。・患者さんが話していることを聞き取れなかったときに、なんかよくわからないから流すのをやめたい。ちゃんと聞き返す。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月15日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.0℃ 体調良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	薬歴記入
	10:00	薬歴記入
	11:00	薬歴フィードバック
	12:00	地域食堂
	13:00	昼休み
	14:00	薬歴フィードバック
	15:00	スライド作り
	16:00	服薬指導
17:00	薬歴記入	
場所	薬局(よもぎ薬局) 地域食堂	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 04月15日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【昨日の服薬指導④のフィードバック】</p> <p>夫 一包化（ピタバスタチンCa1mg、エゼチミブ錠100mg、フェブキソスタット錠20mg、フロセミド錠20mg、ニフェジピンCR錠10mg、エンレスト錠200mg、ダーブロック錠2mg、クエン酸第一鉄Na錠50mg） 強力レスタミンコルチゾンコーワ軟膏 ロケルマ懸濁用散分包5g</p> <p>・エンレストは高血圧の適応を有する（2021年9月から） 〈慢性心不全〉 1回50mgを開始用量として1日2回経口投与。忍容性が認められる場合は、2～4週間の間隔で段階的に1回200mgまで増量。 1回投与量は50mg、100mg又は200mgとし、いずれの投与量においても1日2回経口投与する。忍容性に応じて適宜減量。 〈高血圧症〉 1回200mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は1回400mgを1日1回とする。</p> <p>高血圧症の第一選択にはならない。https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/entresto/high_blood_pressure/salt-conscious</p> <p>ビソプロロールフマル酸塩錠も0.625mg（慢性心不全）、2.5mg（本態性高血圧症、狭心症、心室期外収縮、HFrEF、頻脈性心房細動）、5mg（本態性高血圧症、狭心症、心室期外収縮、HFrEF、頻脈性心房細動）の規格によって適応の違いがある。</p> <p>・ロケルマは維持期に入るため低カリウム血症の副作用に注意が必要な点を確認した。 ・奥様は認知機能低下が疑われる行動があり、ご家族によるこの患者さんの服薬状況のモニタリングは期待できない状況になっている。</p> <p>【心臓病】ディスカッションとその後の自己学習内容（復習）やくち1 ☆虚血性心疾患→狭心症（一過性の虚血）と心筋梗塞（遷延した虚血状態） ・狭心症の定義：冠状動脈の狭窄や閉塞が原因となり、心筋への血液供給が一過性に途絶え、心筋が酸素欠乏に陥ったことで生じる特有な胸部の不快感を主症状とする臨床症候群。 ・急性心筋梗塞：冠動脈血管壁の粥種が破綻することで冠動脈内に遷延する血栓が形成→心筋壊死 ☆心不全→心ポンプ機能の代償機転が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群 原因…・心筋の異常（心筋収縮能の低下：心筋梗塞、拡張型心筋症、心毒性物質など） ・心筋拡張能の低下：心筋梗塞、肥大型心筋症、肥大型心筋症など ・血行動態の悪化（前負荷増大：弁膜症、腎不全、輸液過多、後負荷増大：高血圧、大動脈弁狭窄症、肺高血圧症）肺高血圧症昔やったけど忘れたので調べ ・不整脈 ☆不整脈→心臓の拍動が不規則、早くなる、遅くなる 発生部位による分類 ・上室性（心房性）不整脈：心房細動、心房粗動→脳塞栓症のリスク、発作性上室頻拍→強い自覚症状 ・心室性不整脈：心室頻拍→心不全のリスク、心室細動→致死性</p> <p>【地域食堂での講和】 他の実習生の発表のアシスタントをした。 来週の講和に向け資料作成の下調べをした。</p> <p>【服薬指導】 ヒアルロン酸Na点眼液0.1% 5mL ★エピナスチン塩酸塩LX点眼液0.1%</p> <p>・ドライアイでヒアルロン酸は普段から使用している。目のかゆみに対しては普段はOTCを使用しており、眼科医からの処方初めてと伺った。 指導薬剤師からはエピナスチンは点眼後に苦みを感じることがあるかもしれませんとの注意喚起があった。</p>
----------	--

日誌

日誌 04月15日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

・エピナスチンでなぜ苦みか調べた。
目と鼻、口はつながっているため点眼後に薬液が鼻や口に流れてくることがあり、その際に点眼液の味を感じる。
苦味などを感じてもそのまま飲み込んで問題ない。
目を閉じ、軽く目頭を押さえることで薬液が目にとどまる時間が長くなり効果が得やすくなる。

日誌

日誌 04月15日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月15日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	エンレストの適応を誤解していた。長く見ていた患者さんなのでいろいろまずかったと思う。 1日の服用回数にも着目し添付文書を細かく確認する。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月16日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.1℃ 咳	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	昨日の服薬指導のフィードバック
	10:00	バクスミー
	11:00	スライド作成
	12:00	昼休み
	13:00	スライド作成
	14:00	スライド作成
	15:00	スライド作成
	16:00	スライド作成
17:00	スライド作成	
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月16日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

【服薬指導フィードバック①】

・エピナスチン点眼液について

患者は以前より市販薬の点眼薬を使用していたため、今回処方された第二世代抗ヒスタミン薬に変更になったことで、点眼回数が少なくて済むことを伝えるとより安心につながる。

第二世代抗ヒスタミン薬はH1受容体へのインバースアゴニストとして働き、受容体の不活性化を促す作用があるので、痒みを感じない時でもつけ続けると花粉予防になる。

【服薬指導フィードバック②】

・術前休薬が必要な薬…バイアスピリン、クロピドグレル、リバーロキサバン等CT撮影時(ヨード造影剤使用時)には、ビグアナイド系糖尿病薬、ループ利尿薬、NSAIDs等も休薬が必要な点はおさえる。理由は腎障害

・ワルファリンとDOACの比較

ワルファリン…ビタミンK依存的凝固因子の生成を抑制し間接的に凝固をおさえる

DOAC…トロンビンやXaを直接阻害。凝固系のより下流を抑制することで凝固系を止めるので、ワルファリンよりも作用時間が短くても効果が高い。

【学校薬剤師について】

学校薬剤師が本当に役割を発揮すべき場面は、エピペンや重症低血糖時のグルカゴン投与など、薬剤を用いた救急対応を伝えること

日誌

日誌 04月16日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	○
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月16日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	スライドがなかなか仕上がらない
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月17日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 午前36.6℃ 帰宅後38.7℃ 体調不良 咳、寒気、全身痛	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	スライド作成
	10:00	スライド作成
	11:00	スライド作成
	12:00	昼休み
	13:00	発表練習
	14:00	発表練習
	15:00	お茶
16:00	発表練習	
17:00	日誌記入	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月17日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

・ VTE治療のリバーロキサバンについて
静脈血栓塞栓症 (VTE) の治療のイグザレルトの後発品について、添付文書を比較して確認したところ、VTEへの適応を有する後発品はバイエル社製のみであった。バイエルは先発品に加え後発品も製造しており、VTE適応の特許は未だ有効なため、他社製の後発品にはVTE適応がない

他社製品後発品をVTE目的で処方した場合、保険適応外となり、医療費は医師負担になる。→医師は後発品処方時にはメーカー指定して変更不可にする

・ 夜尿症のベオーバについて
 $\beta 3$ 受容体作動薬で、膀胱平滑筋を弛緩させて蓄尿機能を高める
持続的かつ累積的で、服用を継続することで効果が高まり、最終的に薬の卒業を目指す。
→効果判定には段階的な評価が必要になる薬

日誌

日誌 04月17日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月17日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	体調を整える
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月18日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 朝37.0℃、夕37.7℃ 発熱、咳、頭痛	
欠席、遅刻・早退の理由	発熱、咳、頭痛	
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月18日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 04月18日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月18日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月19日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 37.1℃ 頭痛、発熱、咳、貧血	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月19日

東邦大学

学籍番号(1021236

)

氏名(湯口

万里奈

)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 04月19日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月19日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月20日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 39.0℃ 発熱、片頭痛、咳 PCRでコロナとインフルエンザは陰性でした。明日また受診する予定です。	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月20日

東邦大学

学籍番号(1021236

)

氏名(湯口

万里奈

)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 04月20日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月20日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	